

フィリピン元大統領のジョセフ・エストラダ氏の妻のルイサ・エストラダさん(黒のスーツ)とその隣で白いドレスを着た直子さん(寺尾さん提供)



タンザニアで農業の指導をしていた頃の勇さん(寺尾さん提供)

その後、古里で自給自足の暮らしを追求し、その素晴らしさを広く伝える活動を行ってきました。

## 「ハズバンドのおかげ」とほほえむ妻

さて、ここからは気になる二人の出会いです。

「第2の人生は、自然豊かな田舎で静かに暮らしたいと思っていました」と言う直子さんは、知人から勇さんを紹介されました。勇さん63歳、直子さん83歳の時です。意気投合した二人は1カ月後、勇さんの古里の宇土市で共同生活を始めます。

「直子さんは年齢を感じさせないオーラを放つ、チャームキングな女性です」と勇さんがのろけます。直子さんもまた、「勇さんはとてもピュアな方。愛し合い支え合うことに年齢は関係ありません」と応えます。

5年前に籍を入れ正式に勇さんの妻になった直子さんは、テレビ朝日の「新婚さんいらっしゃい」に出演し、放送史上最高齢の新婦として紹介されました。今春、二人に同番組の50周年企画アカデミー賞が授与されました。

そしてこの6月から二人は、飯田山・常楽寺の管理人になります。「神聖な場所で暮らせるなんて、全てハ

ズバンドのおかげ。125歳までがんばりますわ」と直子さんは笑顔をほころばせました。

## 目の神様に手を合わせ

谷川地区にひっそりとたたずむ「左の目神社」。緑が生い茂る参道の奥に拝殿が鎮座しています。

神社の由来は諸説あり、一説には平家に仕えて戦った藤原景清が九州に落ちのびたものの、追っ手の源氏から身を守るために左目をくり抜き人相を変え、その左目が祭られていると伝えられています。それらの伝説から目の神様としてあがめられ、遠方からの参拝者もあります。



目の神様としてあがめられている左の目神社



左の目神社参道前にたたずむ地藏

またNHKの「につぼん縦断こころ旅」でも紹介され、俳優の火野正平さんが自転車で訪れたシーンも記憶に新しいところです。